

公益社団法人 大津市シルバー人材センター
令和3年度事業報告

1 はじめに

令和2年1月から始まりました新型コロナウイルスの感染拡大は、現在まで数次にわたる「緊急事態宣言」の発出や「まん延防止等重点措置」が講じられてきました。

令和3年4月には3回目の緊急事態宣言が発出され、続いて、7月には4回目の緊急事態宣言が発出されました。滋賀県は8月27日から9月30日までの間、緊急事態を実施すべき区域に組み入れられたところです。

他方、ワクチン接種は、令和3年12月から3回目が始まり、感染拡大対策が強化されてきましたが、新種のオミクロン株等により感染の拡大は続いています。この新種株はこれまでのウイルスと比べ重症化のリスクは低いと報道されていますが、安心はできない状況です。

このような状況の中で、令和3年度の事業実績は令和2年度と比べて、8%増を示しました。公益目的事業で3%、収益事業で20%、派遣事業で17%とそれぞれ増加しました。公益目的事業の内、9事業で件数増となりました。除草、剪定およびくらしの便利屋で合わせて240件の増となりました。また、訪問介護事業では113件の増となりました。新型コロナウイルス感染禍により落ち込みました令和2年度の事業実績を令和3年度は大きく取り戻す結果となりました。

令和3年度決算は、公益目的事業は4,967千円の赤字を計上しました。また、収益事業は10,051千円の黒字です。法人会計を含めた当センターの全体決算は3,468千円の黒字となりました。公益目的事業を黒字に転換しようとする場合は、事務比率を引き上げる必要がありますが、全体決算が黒字の中、事務比率の改定は時期尚早と判断しています。何より会員皆様の就業機会の確保に努めることが大切です。

また、会員お一人おひとりが感染予防をしっかりと励行頂きました。感染者数が増加していく中、センターにも濃厚接触や感染の報告が有りましたが、会員の皆さんが感染を防止するという高い意識を継続的に堅持頂いたことで、利用者様に御迷惑をおかけするといった事態には至りませんでした。

超高齢社会はますます進行します。団塊の世代が後期高齢者の仲間入りをされる令和7年が近づいています。シルバー人材センターは、会員皆様のご理解とご協力を頂いて、超高齢社会における地域の様々な課題に対峙し、解決していく必要があります。

2 センター事業の実施について

当センターは、令和3年度、公益目的事業としまして「請負事業」、「労働者派遣事業」および「職業紹介事業」、収益事業としまして「訪問介護事業」お

よび「介護予防事業（総合事業）」を行いました。また、（公社）滋賀県シルバー人材センター連合会からの委託を受け「高齢者活躍人材確保育成事業」を行いました。

(1) 公益目的事業

① 請負事業

除草作業は前年度比4,000千円の契約増となりました。民間からの契約が約5,000千円増加しました。清掃作業の契約金額は対前年5,000千円程度の増額となりました。剪定作業も対前年比約9%の契約金額増となりました。放置自転車、カート整理および表装表具は前年を下回る結果となりました。一定の成果

区 分	契約金額	就業延人員
除 草	91,347千円	10,002人
清 掃	68,638千円	15,819人
剪 定	73,164千円	6,261人
放置自転車撤去啓発	7,000千円	1,808人
カート整理	9,059千円	1,861人
表装・表具	3,164千円	511人
筆 耕	4,879千円	2,345人
管 理	15,621千円	5,740人
大工・左官・塗装	4,118千円	225人
生活支援等サービス	28,126千円	12,166人
その他	13,181千円	10,641人
合 計	318,297千円	67,379人

(詳細は令和3年度事業実績一覧参照)

が認められ計画的に契約金額が減少した業務や大規模店の廃業が主な理由です。筆耕および管理はほぼ前年並みの契約金額となりました。大工・左官・塗装の件数は増加したものの受注ロットが前年より比較的少額となり契約金額は減少しました。子育て支援やくらしの便利屋などを含む生活支援等サービスは、室内の対面サービスであることから新型コロナウイルス感染症の影響を受ける業務で、対前年比の8.1%程度の減となりました。

② 労働者派遣事業

令和3年度労働者派遣の契約金額は115,559千円となりました。大規模小売店への派遣とともに、宿泊施設への派遣、発掘調査および事務補助などへの派遣を行うことができました。

派遣先数	契約金額	就業実人員	就業延人員
100件	115,559千円	250人	19,565人

③ 職業紹介事業

当センターはハローワークと同様に高齢者向けに職業紹介を行うことができます。企業等からの求人依頼を受け、センターが毎月発行する「お仕事情報」に求人情報を掲載しています。「有償の職業紹介」として運用できますが、より多くの求人がいただけるよう、現在のところ手数料率0%の「無償の職業紹介」としてしています。会員の皆さんが在宅で高齢者向けの求人情報

が閲覧できるメリットは大きいと考えています。

紹介依頼企業数	求人者数	応募者数	採用者数
24社	48人	61人	15人

(2) 収益事業

令和3年度収益事業（訪問介護事業等）の契約金額は対前年比約20%の伸びが認められました。超高齢社会が進行し、令和7年には団塊の世代が後期高齢者の仲間入りをされるいわゆる「2025年問題」が心配されています。その5年後の令和12年の大津市における要支援・要介護認定者数は25,000人に昇ると推計されています。訪問介護を希望される高齢者が今後増加していくことは明らかで、これら高齢者のご期待に添えるよう当センターの訪問介護や総合事業の充実、発展を図ることが大切です。このような考え方のもと「就業会員が就業しやすい環境づくり」の一環としまして、令和3年度は国の制度に基づき配分金単価等の「処遇改善」を行いました。

区分	契約金額	就業実人員	就業延人員
訪問介護	57,857千円	92人	15,901人
総合事業	18,206千円	67人	5,760人
合計	76,063千円	93人	21,661人

(3) 高齢者活躍人材確保育成事業（受託事業）

社会全体のデジタル化が進められる中、高齢者のデジタル格差の解消を目的に必要な技能講習を実施しました。令和3年度は「パソコン・スマホ研修」を実施しました。パソコンはワード、エクセルの操作研修です。自治会の案内文や決算書の作成を演習テーマに実践研修を行いました。スマホ研修はスマホを活用して買い物ができるよう演習テーマを設けました。定員を大幅に超える受講申し込みがあり、次年度も同様の研修会の開催を計画しています。

実施事業名：「地域ITサポート支援員」養成講座

開催回数	参加実人員	参加延人員
10回	20人	193人

講座内容	ワード研修	3回
	エクセル研修	3回
	スマホ研修	4回

3 重点事業の取組みについて

当センターは平成30年度に策定しました「中長期経営事業計画」（以下「計画」という。）に基づき事業を行っています。また、計画の適切な進捗管理を行うため「進行管理委員会」を設置しています。令和3年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、また、感染下の社会情勢が不透明なことなどから進行

管理委員会は開催できませんでした。

(1) 新規会員獲得のための取組み

令和3年度末の会員数は1,632名となりました。対前年約3%の増です。

① 入会説明会の開催

ア 入会説明会および出張入会説明会の開催等

1人でも多くの市民の皆さんにご参加いただけるよう大津市役所中央公民館で行う「一般入会説明会」に加えて、晴嵐公民館、堅田公民館、瀬田東公民館、木戸公民館および藤尾公民館の5ヶ所で「出張入会説明会」を開催しました。また、ホームページを活用した随時入会を推奨しました。

入会説明会の区分	開催回数	参加者数	入会者数	備考
一般入会説明会	19回	236人	196人	
出張入会説明会	5回	72人	47人	晴嵐・堅田・瀬田東・木戸・藤尾
Make2ndLife 入会説明会	4回	44人	25人	2日間開催
随時入会	—	7人	7人	
合計	28回	359人	275人	

イ 「Make 2nd Life 2021 入会説明会」の開催

昨年度に引続き、ブランチ大津京で「Make 2nd Life 2021 入会説明会」を開催しました。商業複合施設を会場とすることでシルバー人材センターの認知度向上を図りました。入会説明会に加えて、活動状況を紹介するパネル展示や木工おもちゃなどを販売する会員手づくり市を開催しました。会員手づくり市への参加は会員に広く呼び掛けました。

開催日 令和3年11月20日(土)・21日(日)

場所 ブランチ大津京(大津びわこ競輪場跡地)

入会説明会参加者 44名

会員手づくり市への参加 6店舗

会員手づくり市の売上げ 265,360円



入会説明会の様子

② 広報活動

ア ホームページのリニューアル

センターのホームページをリニューアルしました。親しみがありわかりやすい広報を行うため、会員の協力を得て動画を制作し、ホームページにアップロードしました。令和3年度のホームページ閲覧回数は延730,152回です。

イ 新聞折込チラシの全戸配布

「Make 2nd Life 2021 入会説明会」の開催に合わせ、開催の告知とシルバー人材センターの認知度向上を図るため新聞折込によるチラシの全戸配布を行いました。

○ 実施日 令和3年11月14日(日)



新聞折込チラシ

- 配布部数 91,150部（以下6紙の新聞購読世帯へ配布）

朝日新聞・毎日新聞・読売新聞・産経新聞・京都新聞・日経新聞

ウ 広報用パンフレット、チラシ等の配布

- 広報用パンフレット（入会説明会開催案内や機関紙等）を大津市の協力を得て市内各支所および大津市役所新館市民ロビーに配架しました。
- 出張入会説明会の開催に合わせ、開催告知とセンター広報を兼ねたチラシを作成し、会場周辺にポスティングしました。ポスティングは地域委員会に協力を依頼しました。
- Web入会を案内するチラシを作成（20,000枚）し、地域委員会の協力を得てポスティングしました。

エ 女性会員向けセミナーの開催

女性会員の拡大を目的に女性に歓迎されるセミナーの開催で、参加者の口コミによる女性会員拡大を図りました。

- セミナー名 手芸教室「羊毛フェルトで干支をつくろう」
- 開催日 令和3年12月15日（水）
- 参加者 13名



WEB入会チラシ

(2) 受注拡大のための取組み

① 入札参加資格の取得

大津市および滋賀県からの受注の拡大を図るため、入札参加資格を取得しました。

② 営業活動の実施

新型コロナウイルスの感染拡大により、例年実施している個別訪問型の営業活動は自粛しました。なお、感染拡大の状況を見ながら、随時に大口顧客および大津市に営業活動を行いました。

③ 一般競争入札の参加

大津市自転車駐車場指定管理業務、大津市立小中学校トイレ清掃消毒業務および大津市民病院来院者対応業務の3件の一般競争入札（請負）が実施され、就業機会の拡大を図るため入札に参加しました。結果は大津市民病院来院者対応業務を落札することができました。また、滋賀県が実施した2件の事務補助に係る一般競争入札（派遣）を落札することができました。

④ ポスティング実証実験の実施

ポスティングは誰もが取り組みやすい就業で、且つ健康増進につながります。今後、積極的にポスティングに取り組んでいくため、運用上の課題を探る実証実験を行いました。実証実験には3つの地域委員会（真野・伊香立、唐崎、石山・晴嵐）の協力を頂き42人が参加されました。

(3) 就業率の向上

就業率の向上を図るため新規業務の獲得や大津市からの大口受注の獲得に取り組みましたが、令和3年度の実績は61.7%で、新型コロナウイルス感染拡大の影響で就業が減少した令和2年度の実績(66.9%)を更に5.2ポイント下回る結果となりました。計画の数値目標(75.2%)も13.5ポイント下回り大きく乖離する状況です。

就業率の向上には多様な就業機会の確保のほか、分かち合い就業の推進等様々な課題があります。今後、就業率を向上させるため、抜本的な検討を行う必要があります。

(4) 安全・適正就業の推進

令和3年度の事故発生状況は、全体で10件(傷害事故7件、賠償事故3件)となりました。令和元年度の事故発生件数が21件、令和2年度が17件で、この3年間は減少傾向となっています。令和3年度の最重点事業として“事故0”を目指し、次の取り組みを行いました。

① 職群班長会議における事故事例等の報告

職群班長会議で事故発生件数や事故事例を報告し、安全確保等の方策検討を行いました。

② 安全パトロールの実施

安全パトロールを「安全確認チェック表」に基づき実施しました。

○ 実施時期 令和3年7月

○ パトロール箇所 除草作業現場

③ 安全・適正就業推進大会の開催

安全意識の高揚を図るため安全・適正就業推進大会を開催しました。

○ 開催日時 令和4年3月10日(木)

午後1時30分～午後4時まで

○ 開催場所 大津市生涯学習センター

○ 参加人員 182名

④ 剪定作業の安全確保

重篤事故につながる恐れがある剪定作業について、安全意識の高揚と安全対策の強化を図るため、安全管理物品(殺虫剤、救急箱、安全作業看板等)の整備を行いました。

⑤ 刈払機取扱作業安全衛生教育研修の実施

飛び石等の賠償事故や刈払機による傷害事故を防止するため、国が示す「刈払機取扱作業安全衛生教育」研修を実施しました。

○ 実施日時 令和4年3月24日(木)

午前9時～午後4時30分まで

○ 実施場所 大津公民館(大津市民会館会議室)、おまつり広場

○ 参加人員 18人



安全・適正就業推進大会の様子



実技講習の様子

(全員「刈払機取扱作業者安全衛生教育修了証」取得)

(5) 収益事業（訪問介護事業等）の推進

令和3年3月、収益事業費の減少や就業会員の確保などの諸課題に対応していくため「訪問介護事業見直し検討結果報告書」を取りまとめました。

この報告書では訪問介護事業改善のための5つの方策を示しました。そのうち、「会員間の交流の推進」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け実施できませんでした。

① 配分金単価の見直しについて

就業会員の処遇を改善するため、令和3年4月から訪問介護に従事する会員の配分金単価（土日・祝日追加配分金を含む。）を見直しました。また、新規契約利用者就業追加配分金を新設しました。

② 手当ての新設について

「月末報告会参加手当」および「新入会員・初心者会員同行手当」を新設し、就業会員およびヘルパー資格を有する未就業会員の就業促進を図りました。

③ ヘルパー資格を有する会員の確保と育成等

新聞折込チラシや機関紙「鳩の湖」などで機会あるごとに訪問介護の必要性や魅力の発信を行いました。また、月末報告会の活性化が図られ、事務局と会員および会員間の情報交換が促進されました。

(6) 地域社会への貢献

14の地域委員会では会員相互の連携・親睦を深めることを目的に、役員会議、ボランティア活動および親睦事業等が開催、実施されました。

① 地域ボランティア活動

- 実施回数 79回
- 参加延人員 642人

ボランティアの内容	実施回数	参加延人員
JR駅前花壇の花苗植栽	3回	13人
スクールガード	18回	54人
神社の清掃	10回	214人
幼稚園、小学校等の除草、清掃等	18回	167人
その他（公園の清掃、置き傘の補充等）	30回	194人

② 「シルバー環境美化の日」（全国のシルバー人材センターが一斉に実施）

実施日 令和3年10月12日（火）、13日（水）

参加人員 99名

4 その他事業等の取組みについて

(1) 研修会等の実施について

① 会員講師による講習会の開催

会員が講師を務める「シルバーカルチャー講座」を開催しました。豊富な知識や特技あるいは体験を語られる内容で、講座の運営は参加者の負担金で賄われました。知識と趣味を上げられるとともに会員相互の親睦が図られました。9講座（全11回）を開催し、延べ71名の会員が参加されました。



シルバーカルチャー講座の様子

② その他研修会の実施

研修名	開催回数	参加人員	備考
刈払機・ブロー安全対策講習会	1回	12人	膳所班実施
福祉・新人研修	14回	59人	接遇・個人情報の取扱い等
子育て研修会	1回	10人	子どもの理解と支援について
介護技術等研修	4回	61人	栄養・防災・口腔衛生・転倒防止

(詳細は各種会議行事等参照)

(2) 会員相互の親睦の確保

会員相互の親睦を図ることは、当センターのコンセプト「人生100年!!! 笑って生きる」につながります。新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら次の事業を開催しました。

① グラウンドゴルフ大会

会員募集も兼ねて平成30年から実施している「グラウンドゴルフ大会」を開催しました。

- 開催日 令和3年10月20日(水)
- 開催場所 皇子山総合運動公園陸上競技場
- 参加人員 128名(うち会員56名、一般72名)

② 写真クラブ

当センターでは高齢者の就業確保に留まらず、会員の趣味・特技を応援するシルバーを目指すことも目標の一つとしています。

本年度も「Make 2nd Life 2021 入会説明会」で写真展示会を開催しました。会場ではクラブ員による交流会を開催しました。また、「冬の撮影会」として比叡山延暦寺でロケーション撮影会を開催しました。

③ しろがねコーラス

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、練習および慰問活動は自粛しましたが勉強会等を開催しました。

④ 会員親睦旅行

会員拡大を目的に会員に限定することなく募集する会員親睦旅行は、当初の定員を大きく上回る52名の申込みがありましたが、新型コロナウイルス

ス感染拡大のため止むを得ず中止の判断をしました。

(3) 健康増進事業の推進

会員の健康な生活を応援するため、株式会社カーブスジャパンの協力を得て、「からだの衰え度チェック」を開催しました。また、「Make 2nd Life 2021 入会説明会」においても参加者に血管年齢測定を実施しました。

- 開催日 令和3年7月20日(火)、
8月3日(火)、8月4日(水)
- 参加者 50名(3日間合計)

「からだの衰え度チェック」の様子



5 センターの役員会議等の開催について

新型コロナウイルス感染禍において、やむを得ず中止した会議もありましたが、「自主・自立」、「共働・共助」の理念のもと、熱心な検討をいただきました。

会議名	開催回数	所属役員数
理事会	5回	17名
執行役員会議	7回	3名
事業部会	1回	4名
福祉部会	6回	7名
地域委員長会議	3回	16名
広報委員会	8回	8名
除草班長会議	4回	13名
剪定班長会議	3回	16名

(詳細は各種会議行事等参照)